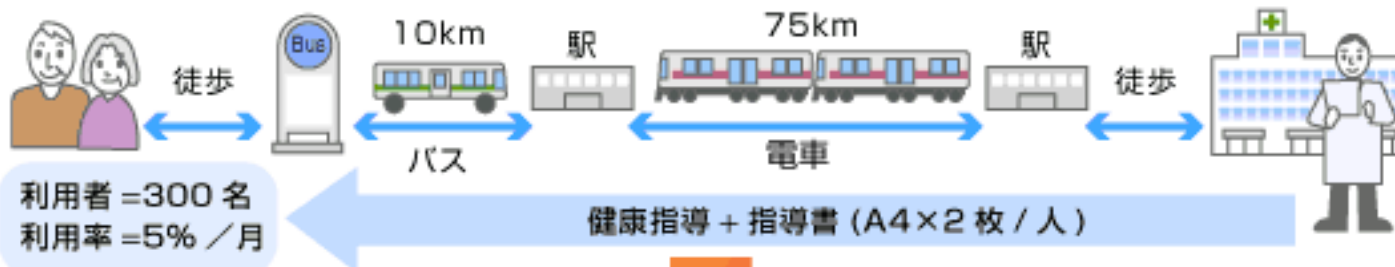


「UNIVERGE 遠隔相談ソリューション」評価モデル

高齢化が進む過疎地や離島等と市街地の医療施設をリッチメディアで接続し、遠隔での健康指導や健康相談を提供するソリューション。主に、過疎地や離島と市街地の移動に伴うCO2排出分の削減に貢献します。

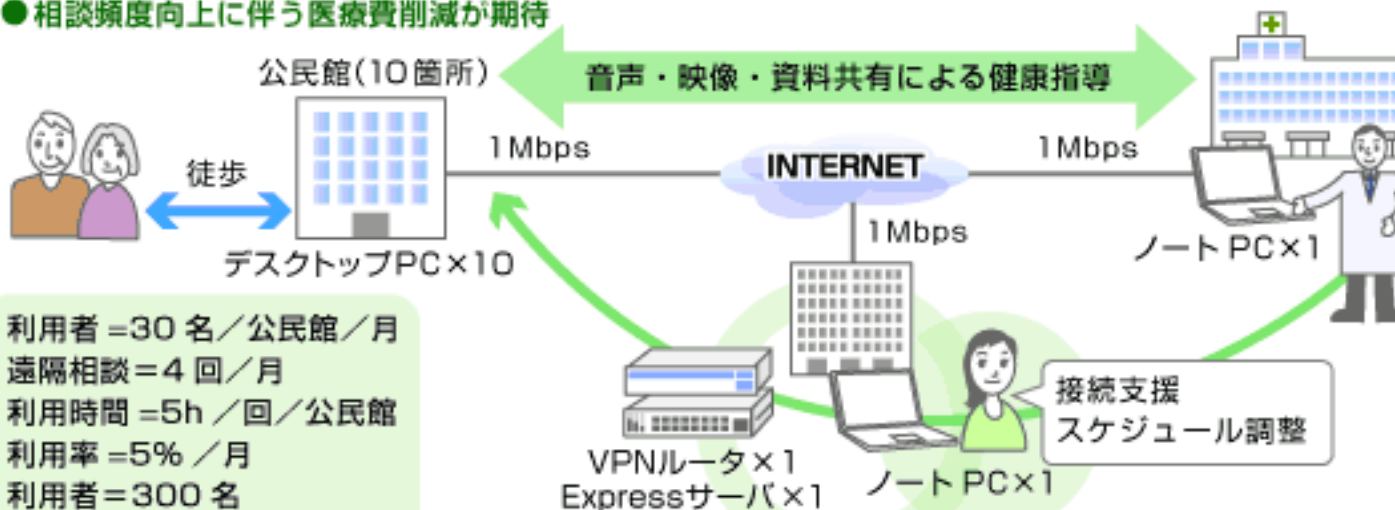
システム導入前

都心から離れた町（人口約6000人）の住民が23区内の病院に健康相談に行くことを想定



システム導入後

- 移動の削減、指導書の削減
- 相談頻度向上に伴う医療費削減が期待



利用者 = 30名/公民館/月
遠隔相談 = 4回/月
利用時間 = 5h/回/公民館
利用率 = 5%/月
利用者 = 300名

「UNIVERGE 遠隔相談ソリューション」評価モデル 評価結果

導入により、CO2排出量を74%削減。
主に人の移動による削減に効果大

